



小網代通信

2018年 5月号 VOL-239

発行：小網代ヨットクラブ
〒238-0225
神奈川県三浦市三崎町小網代1385-18
2017.12月より電話番号が変わりました
Tel 080-9571-4663
編集：広報委員会
編集長：里吉美恵子

今月の内容

・連絡事項	編集委員	1ページ
・「春の伊東クルージング報告」	氏家 理央 (KYCクルージング委員長)	2ページ

連絡事項 (編集委員)

1. <平成30年度 ホームページ 会員向けログインパスワードについて >
5月10日深夜24:00をもって変更されます。各艇オーナー及び代表にご確認ください。

2. <クラブメンバー著作による長編小説二書籍、ご寄贈いただきました>

①「明治・海・2人(スクナーとカヌー)」 著者:白崎謙太郎

「ナジャ」オーナーの白崎氏が20数年かけて原稿用紙500枚の長編小説を上梓され、小網代ヨットクラブに寄贈(サイン入り)していただきました。著者より本のご紹介をさせていただきます。

【明治時代、北洋の荒れた海でのラッコ・オットセイ猟の話を軸に、アリュースシャンからカヌーで千島まで漕ぎ渡った青年と横浜在住の英国人青年との友情、そして彼らのカヌーと帆船(スクナー)での航海を描いた胸のすくような物語です。当時のアリュースシャン・千島・横浜を舞台にしたもので、スクナーによるラッコ・オットセイ猟にまつわる話、明治初年の横浜の様子も沢山書きました。50~60フィートのやや大きなヨットくらいのスクナーでの大時化の航海、アリュート人のカヌーでの航海など、ヨットマンには強い共感を持って読んでいただけるものと自負しています。

執筆にあたり、ヨットの師である「故 渡辺修二氏」からいろいろ関連の資料を送っていただき、また励ましていただき、この度やっと完成いたしました。】

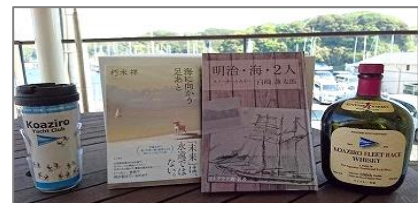
・この本は、書店で購入できません。ご希望の方は、下記までお問合せください。

白崎謙太郎 kshirasaki1291@gmail.com (1冊 2,000円・郵送の場合:送料360円)



②「海に向かう足あと」 著者:朽木 祥

この本は、昨年の小網代通信3月号にてご紹介させていただきました。「サンゴ」藤原理恵子さんより、同艇メンバーの朽木祥さんの著書を小網代ヨットクラブに寄贈いただきました。



お酒で・・・お茶で・・・ ゆっくりと海を感じる本です

【小網代ヨットクラブウェブサイト情報】 URL <http://koaziroyc.jp>

【次回予定 総務委員会 5月21日(月)18:30~21:00 駐健保会館4階会議室(JR田町駅より徒歩10分)】

2018.5月号-1

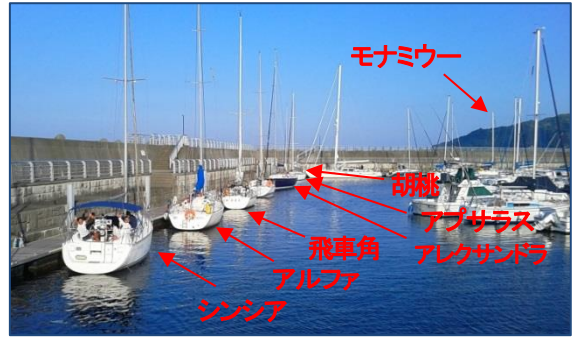
春の伊東クルージング報告

クルージング委員会 氏家理央(胡桃)

今年の KYC 春のクルージングは、連休初日、口開けの土曜日 4/28(土)となった。

伊東サンライズマリーナにて現地集合、夜・懇親会、翌朝・現地解散という日程で、連休に各艇で予定しているクルージング幕開けに、伊東に集結して景気をつけよう！との計画である。

日頃の行いがモノを言い(?)朝からピーカン、夏日になるかもとの予報に各艇冷えたビールの搬入怠りなく、10 時には皆小網代を出航、チェックイン・タイムの 15:00 過ぎにはサンライズマリーナに小網代艇がズラリと並ぶ壮観に(写真右)。参加艇はアプサラス、アルファ、アレクサンドラ、胡桃、シンシア、飛車角、モナミウー(+波勝メンバー)の7艇。(*シンシアはメールの不具合により懇親会申込みが間に合わず、宴席が用意できずで…何とも申し訳なし)。

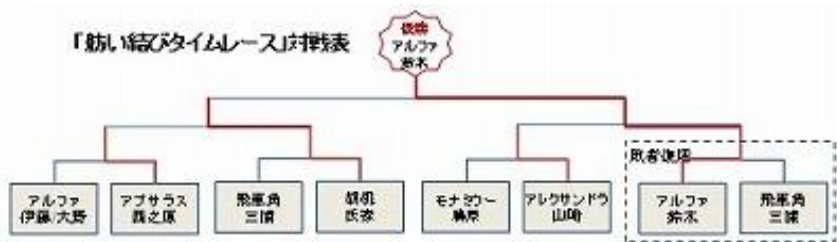


懇親会は伊東駅近くの味な料理屋「旬の味・たなか」にて、陸路でこの宴会のために駆けつけたスーツ姿の清水会長による乾杯の音頭で、賑やかに開始となった。



カウンター、小上がり、椅子席に銘々陣取り、店は奥の個室を除いて小網代ヨットクラブ貸切に。クルージング委員会宴会部長・相馬委員(アプサラス)の司会で、新企画・各艇対抗「舳い結びタイムレース」が始まると、「あら?」「こんなはずでは」、ヨーイドンで盛り上がる声援に焦ったものか、各艇代表のエース・メンバーが次々とまさかの敗退。「だらしねえな、俺と替われ!」と飛び出た助っ人も敗退して、会場はハラハラ・ドキドキの興奮に。(写真上:慌ててヘンテコ結び

になってませんか!? 結び目を厳しくチェック)



かくして小網代ヨットクラブの記念すべき第1回・舳い結びタイムレースは、冷静沈着に着実な舳いを結び続けた、アルファの女性メンバー・鈴木綾さんが堂々の優勝を飾った(写真右)。



秋のクルージングは、10/7(日)~8(月祝)となっています。多数のご参加お待ちしております。

